

「比例を軸」連続選勝利へ後援会活動強化を

後援会6府県代表者会議

5月6日・中之島 参院選勝利決起集会を開催

日本共産党後援会近畿ブロック連絡会の活動再開・強化へ8日、6府県の代表者会議が開かれ、「比例を軸に」統一地方選・参院選で必ず勝利し、統一地方選後、10連休の最後の日の5月6日（祝）に大阪市中央公会堂で参院選勝利の決起集会を開くことを決めました。



近畿連絡会（12年4月結成）は16年9月に集会を開いて以来、活動が休止状態でした。3中総決定の「後援会活動を選挙戦の日常化の要にすえる」との方針を受け、連続選挙本番を前に会議を開きました。連絡会の目的は①各府県の後援会活動の促進②近畿の政治目標達成へ「近畿はひとつ」の活動を推進することです。

会議では山口隆代表があいさつ。林信一郎近畿ブロック事務所長が報告し、活動を交流しました。報告では前回の府県・政令市議選で近畿では最下位当選が10人いる一方、次点は35人おり、厳しさの可能性の両面をつかんで攻勢的にたたかうこと、24日（日）には穀田恵二党国対委員長を主な弁士に「阪急沿線作戦」（京都・長岡京市→大阪市・東淀川区→淀川区→兵庫・宝塚市）に取り組むなど党の風を大きく起こすスケールの大きな選挙戦にすることを強調しました。

5、6参院選決起集会は山下よしき、井上さとし両参院比例候補、6府県の選挙区候補、近畿の国会議員が初めて勢ぞろい、市田忠義副委員長（参院議員）が記念講演し、勝利へ出足早く取り組む場とします。参加目標は1000人、地方選の最中から会議やニュースで集会開催を徹底し、ピラなどを活用して参加の組織や案内を行うことを確認しました。

和歌山県の後援会づくりリーフづくりの経験や西牟婁郡の高田よしかず県議候補勝利の取り組みの報告など、活発に交流しました。

全国・近畿はひとつ 参院選勝利近畿決起集会

5月6日（休）午後2時半 大阪市中央公会堂（中之島）

決意表明 比例候補・山下よしき、井上さとし 選挙区候補・たつみコータロー（大阪）、倉林明子（京都）、金田峰生（兵庫）、佐藤こうへい（滋賀）、かまの祥二（奈良）、前ひさし（和歌山）

記念講演 市田忠義党副委員長・参院議員 近畿の国会議員が勢ぞろいします

近畿いっせい宣伝

最高の720カ所で党の風吹かす

「安倍むちゃくちゃや」「ダブル選、バカにするな」「共産党がんばれ」

8日に行われた近畿いっせい宣伝は、昨年来で最高の720カ所で実施、22.5%の支部が参加し、2578人、395人の議員が3万3086枚のピラを配布、党への激励や安倍政治・大阪維新の党略ぶりへの怒りがたくさん寄せられました。

○「安倍はむちゃくちゃや。共産党がんばってや」と二人から（大阪・中津駅）「知事が辞めて選挙。市民をバカにしている」（東大阪・長瀬駅）これまでになくピラの受け取りがいい、手を出して取りに来る人、頑張ると声をかける人多数（大阪・高槻島本）「安倍には死んでも入れない」、ピラの受け取りよし（近鉄奈良）ピラを受け取りに来た人3人（奈良・王寺）

○府委員長を先頭に、勤務員が総出で宣伝（京都）。寒い朝だったが、新しく決まって候補者も元気に宣伝（滋賀）

19年近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 7 (2019.3.11.)